

国立大学法人  
大阪教育大学

2019

# 環境報告書



OSAKA KYOIKU  
UNIVERSITY

# 目次

1	学長挨拶	1
2	環境方針	2
	大阪教育大学環境報告書2019の作成にあたって	
3	環境マネジメント組織	3
4	大学概要	4 ~ 7
	大阪教育大学各キャンパス	5
	団地の所在地	6
	柏原キャンパスマップ	7
5	環境配慮実施計画（平成30年度の実施計画及び評価）	8
	環境配慮実施計画（令和元年度の目標）	9
6	マテリアルバランス	10
7	環境負荷データ	11 ~ 13
8	環境マネジメント活動の推進	14 ~ 23
	環境教育、研究活動の取り組み	14・15
	学内での取り組み	16・17
	環境保全活動の状況	18
	地域社会への取り組み	19・20・21
	大学生協での取り組み	22・23
9	第三者意見	24
10	環境報告書ガイドライン対応表	25



## 学長挨拶

大阪教育大学は1874年の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史の中で、教員養成を中心とした教育によって高い評価を受けてきました。とりわけ本学が重視し、注力してきたことは、広い教養を背景とする高度な専門知識の習得と、教育現場を中心とする様々な職業分野における実践力の養成です。その伝統に基づきつつ、長年にわたり、教育界や社会に貢献する人材を数多く輩出してきました。

実践型の教員養成及び教育・学習支援分野への人材養成を使命とする本学において、どの分野においても、環境マインドを持った人材を養成することは非常に重要な意義があります。本学ではこの環境報告書で紹介する様々な取り組みを実践しています。そうした取り組みを行う中で、本学の学生がここで学んだことを次の子供たちの世代へと伝えていく、環境マインドを継承していくという好循環が実現することを願っています。そのために、大学としては教育面や運営面において、ソフト・ハードともに、様々なプログラムを実施していきたいと考えております。

現在、世界はグローバル化が進行し、歴史の大きな転換点に立っています。社会が大きく変容し、不確実な時代を私たちは生きています。そのような状況の中、数年前に国連でSDGsが採択され、COP21でパリ協定が採択されました。地球環境をめぐって、世界が連帯感を深めながら、目標を共有し、ともに考え、ともに行動する時代にすでに入っています。

本学もこのような国際的な動向にコミットするため、この分野における日本の大学間ネットワークであるサステナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）に参加しています。このネットワークを通じて、他大学の先進的な取り組み事例に学び、採用できることは積極的に採用し、キャンパスにおける環境配慮活動等をとおして、地球温暖化対策に貢献したいと考えております。

最後に、本学の学生・教職員の皆様には、ぜひとも学内外で行われる環境への取り組みに積極的にご参加いただき、環境マインドを培って頂くことを期待しています。また、ステークホルダーの皆様には、これからも本学へのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



国立大学法人大阪教育大学長

栗林澄夫

# 環境方針

## 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。

また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS（電子掲示板）をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。



令和元年9月

国立大学法人大阪教育大学  
学長 栗林 澄夫

## 大阪教育大学環境報告書2019の作成にあたって

### 作成方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、国立大学の自律的な運営が求められる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の努力が必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2019は、本学の教職員、学生のみならず、本学の卒業生、OB・OG、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民等のステークホルダーに対して、平成30年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲  
大阪教育大学柏原キャンパス

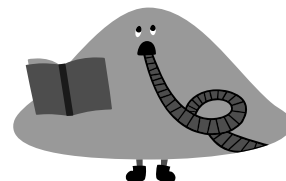
報告書の対象期間  
平成30年度（2018年4月～2019年3月）  
※但し一部内容については2019年6月までの内容を含む。

参照ガイドライン等

- 「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- 環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- 環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

発行年月  
令和元年9月

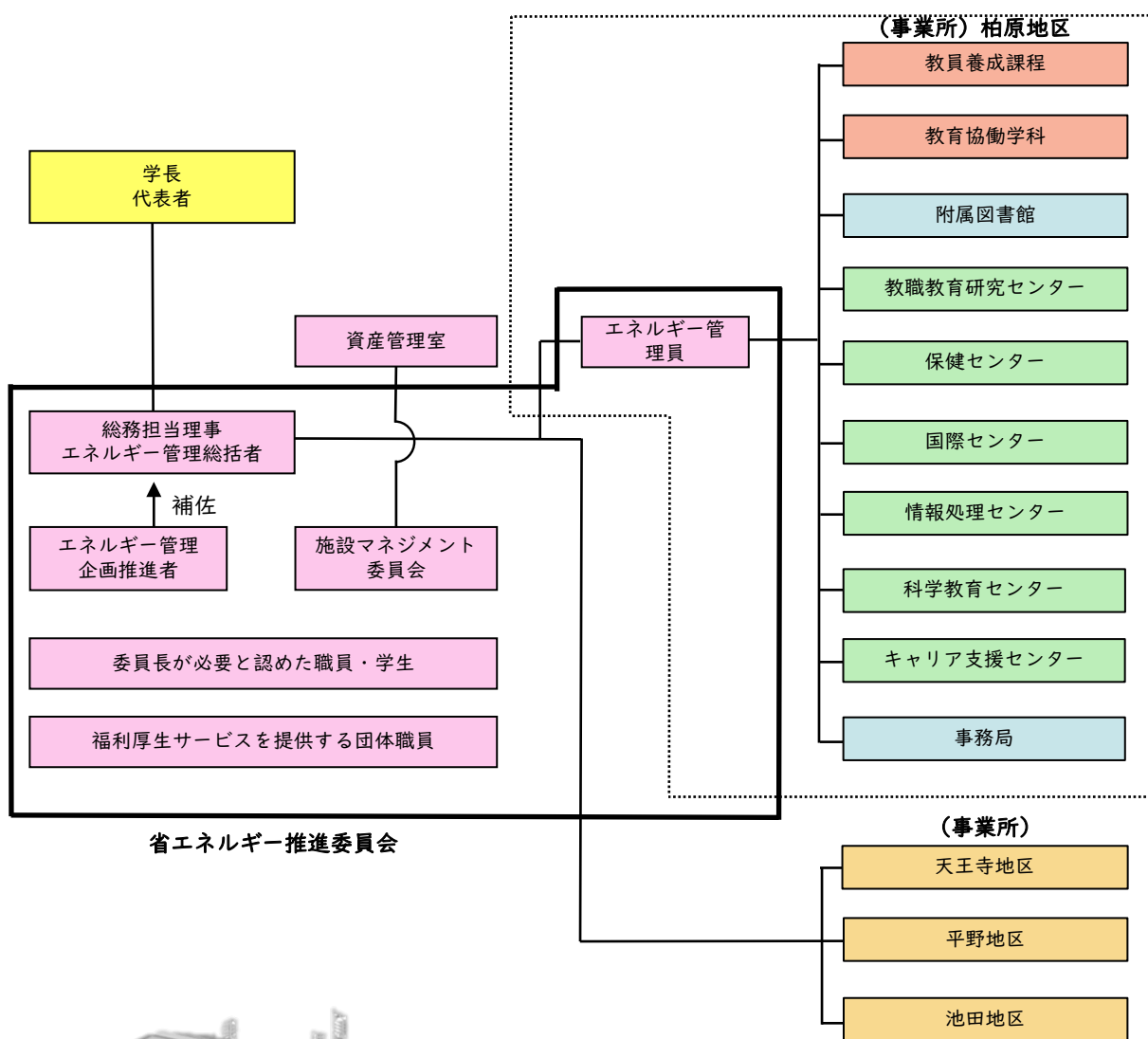
次回発行予定  
令和2年9月



# 環境マネジメント組織

本学は、省エネルギー及び温室効果ガス排出抑制を着実に効果的に推進するため、学長のもと下図のようなエネルギー管理体制組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制を整備、運用しています。省エネルギー推進委員会には、本学の学生や生協職員にも入ってもらい、オール大教大で取り組んでいます。

## 大阪教育大学エネルギー管理組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制

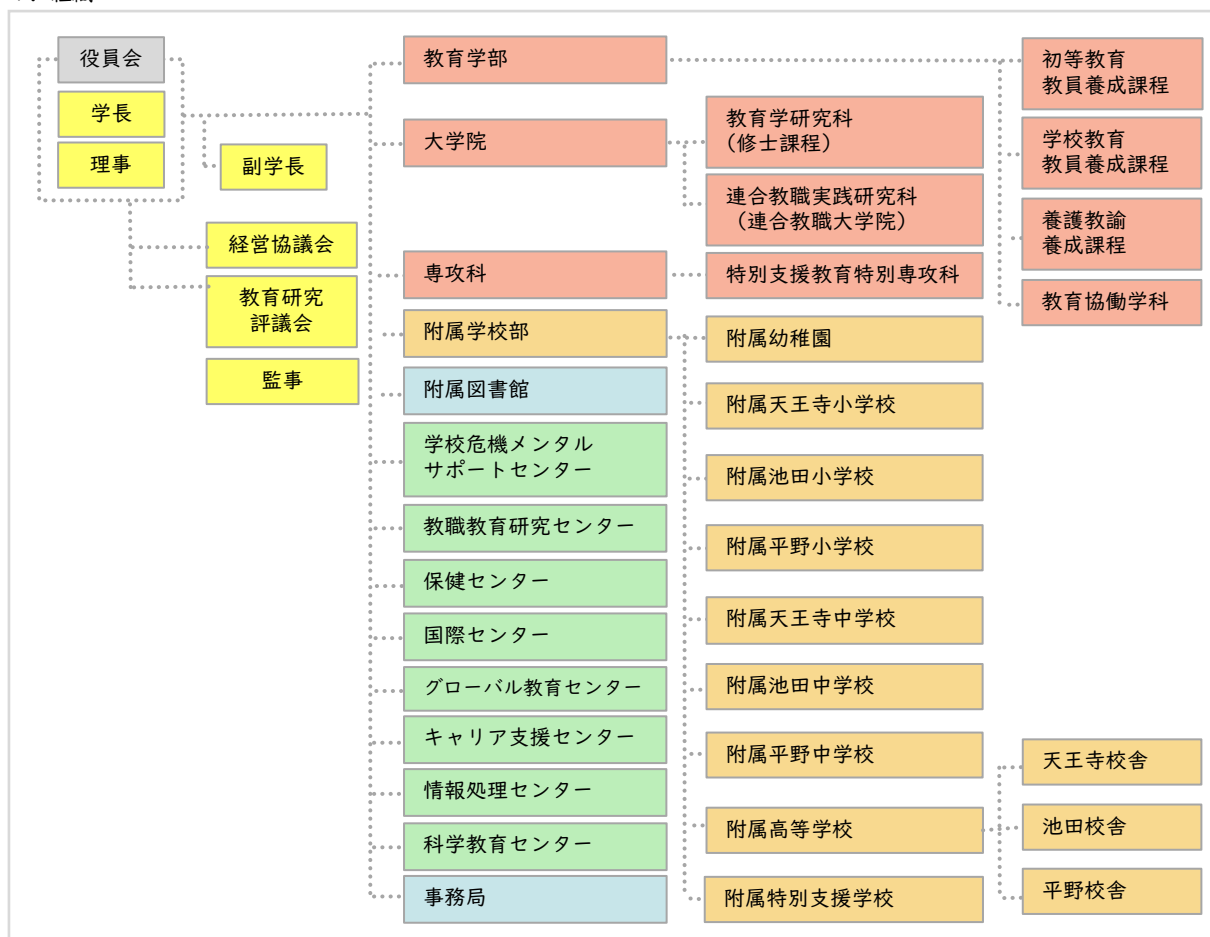


# 大学概要

大阪教育大学は、1874年（明治7年）5月の教員伝習所設置以来、140年を超える歴史と伝統を有する我が国多数の教育大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。さらに大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した11の附属学校園を設置し、総合的な教育系大学をめざしています。

## 1. 組織



## 2. 職員数 (令和元年5月現在)

学長	1	教授	151
理事	4	准教授	86
監事	2	講師	19
合計	7	助教	2
		附属学校教員	265
		事務系職員	167

## 3. 学生数 外国人留学生は内数で記入

■教育学部		第二部小学校教員養成	
教員養成課程・教養学科・教育協働学科		1年次入学	91
教員養成課程	2,296	3年次編入学	81
教養学科	519	合計	172
教育協働学科	1,059		
合計	3,874		
■大学院			
教育学研究科	269		
連合教職実践研究科	153		
特別支援教育特別専攻科	28		

(令和元年5月現在)

# 大阪教育大学各キャンパス



柏原キャンパス



天王寺キャンパス



たまごどり

大阪教育大学公式キャラクター



やまお



平野地区附属学校園  
(幼稚園、小学校、中学高等学校)



池田地区附属学校  
(小学校、中学高等学校)

# 団地の所在地

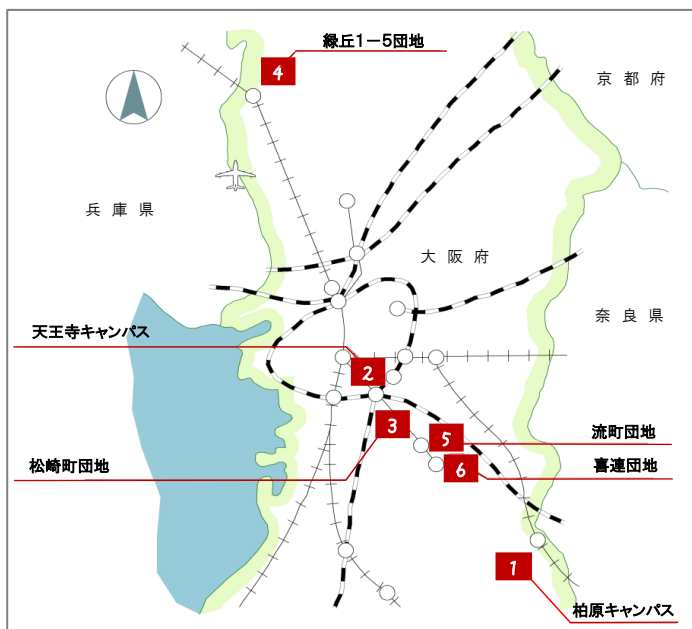
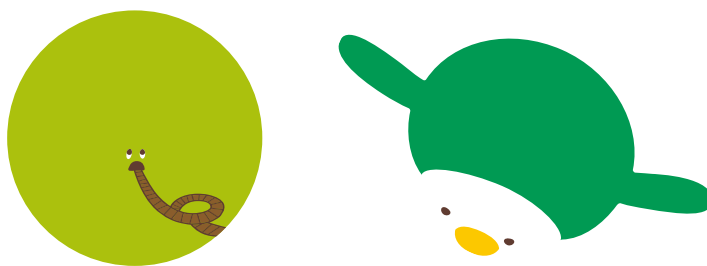
柏原地区	
<b>1</b>	柏原キャンパス
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1	

天王寺地区	
<b>2</b>	天王寺キャンパス
大阪市天王寺区南河堀町4-88	
附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎	
大阪市天王寺区南河堀町4-88	

<b>3</b>	松崎町団地
附属天王寺小学校	
大阪市阿倍野区松崎町1-2-45	





池田地区	
<b>4</b>	緑丘1-5団地
附属池田小学校	池田市緑丘1-5-2
附属池田中学校	池田市緑丘1-5-1
附属高等学校池田校舎	池田市緑丘1-5-1
学校危機メンタルサポートセンター	

平野地区	
<b>5</b>	流町団地
附属幼稚園	大阪市平野区流町2-1-79
附属平野小学校	大阪市平野区流町1-6-41
附属平野中学校	大阪市平野区流町2-1-24
附属高等学校平野校舎	大阪市平野区流町2-1-24
<b>6</b>	喜連団地
附属特別支援学校	大阪市平野区喜連4-8-71



## ◆ キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、天王寺キャンパス及び11の附属学校園が設置されています。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っています。

- 
**柏原キャンパス**  
 平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスです。
- 
**天王寺地区**  
 教育学部（夜間）、連合教職大学院（夜間）と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしています。
- 
**池田地区**  
 附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしています。
- 
**平野地区**  
 附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学習」を目標にしています。



# 柏原キャンパスマップ



1 共通講義棟 (A棟)

大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、CALL (コンピュータ支援語学学習) 教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



2 教育協働学科棟 (B棟)

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。



3 教員養成課程棟 (C棟)

主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。



4 附属図書館 (D棟)

約90万冊の資料が利用できる閲覧室やアクティブラーニングが可能なさまざまなひろば・グループ学習室を設置しています。院生スタッフによる学習サポートも行っています。



5 情報処理センター (E棟)

情報化の推進と情報システムの円滑な運用に、教育研究の発展に寄与することを目的としています。ネットワーク実習室、マルチメディア実習室、オープンLANスペース等があります。



6 美術棟 (F棟)

絵画室、デザイン室、書道室、講義室、彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



7 工房棟 (G棟)

実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



8 体育・スポーツ棟 (H棟)

リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



9 音楽棟 (K棟)

リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



10 学生会館 (M棟)

Dining TERRA、第二食堂、レストラン FORET、喫茶 (SUN Cafe)、Shopアイリス (書籍購買) などがあり、学生の憩いの場となっています。



11 事務局棟 (N棟)

学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



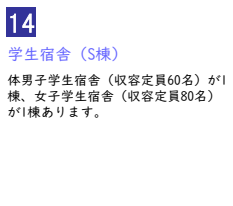
12 体育館 (P棟)

大メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルームなどがあります。



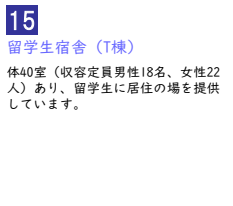
13 課外活動共用施設 (R棟)

体育系共用室、文化系共用室、合宿室などがあり、課外活動の拠点になっています。



14 学生宿舎 (S棟)

体男子学生宿舎 (収容定員60名) が1棟、女子学生宿舎 (収容定員80名) が1棟あります。



15 留学生宿舎 (T棟)

体40室 (収容定員男性18名、女性22人) あり、留学生に居住の場を提供しています。

# 環境配慮実施計画 平成30年度の実施計画、評価



大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めて行きます。

**省エネルギー・省資源の推進** (自己評価の● は計画達成、▲は一部達成、×は未達成を示します。)

項目	実施計画	自己評価
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。</li> <li>■ 旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。</li> <li>■ フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。</li> <li>■ 教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。</li> <li>■ 掲示物等で省エネの啓発を行う。</li> <li>■ 年2回のecoキャラバンを実施し、構成員へ、省エネや空調簡易点検の協力依頼を行う。</li> </ul>	●
水使用量の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 掲示物等で節水の啓発を行う。</li> <li>■ トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。</li> </ul>	●

## 廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 分別回収の徹底を強化する。</li> <li>■ 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。</li> <li>■ 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。</li> </ul>	●
用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。</li> <li>■ 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。</li> </ul>	●

## 環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。</li> </ul>	●
実験廃棄物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。</li> </ul>	●
実験用劇物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 購入者がある都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。</li> <li>■ 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。</li> <li>■ 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。</li> <li>■ 受払簿は使用する毎に記載する。</li> </ul>	●

## 環境教育等の充実

環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。</li> </ul>	●
環境マインドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 春と秋にキャンパスクリーン等の企画を含む大教大ecoウィークを行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、環境マインドの醸成を図る。</li> </ul>	●

## 地域貢献

森林体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。</li> </ul>	●
グリーンアドベンチャ(社団法人青少年交友協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育てる環境保全の大切さを体感させる。</li> </ul>	●
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 星空を観察するという身近な方法で大気汚染を実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施。</li> <li>■ 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。</li> </ul>	●

## 学内美化

雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンパスクリーン週間に年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。</li> </ul>	●
植栽の剪定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。</li> </ul>	●

# 環境配慮実施計画 令和元年度の目標



## 省エネルギー・省資源の推進

項目	実施計画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。</li> <li>■ 旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。</li> <li>■ フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。</li> <li>■ 教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。</li> <li>■ 掲示物等で省エネの啓発を行う。</li> <li>■ 年2回のecoキャラバンを実施し、構成員へ、省エネや空調簡易点検の協力依頼を行う。</li> </ul>
水使用量の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 掲示物等で節水の啓発を行う。</li> <li>■ トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。</li> </ul>

## 廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 分別回収の徹底を強化する。</li> <li>■ 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミは、削減するよう取り組む。</li> <li>■ 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。</li> <li>■ 最近の海洋汚染を考慮して、プラスチック製品を脱プラスチック製品への使用に切り替えるよう努める。</li> </ul>
用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。</li> <li>■ 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。</li> </ul>

## 環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。</li> </ul>
実験廃棄物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。</li> </ul>
実験用劇物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。</li> <li>■ 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。</li> <li>■ 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。</li> <li>■ 受払簿は使用する毎に記載する。</li> </ul>

## 環境教育等の充実

環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さや環境保全等について学ばせる。</li> </ul>
環境マインドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 春と秋にキャンパスクリーン等の企画を含む大教大ecoウィークを行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、環境マインドの醸成を図る。</li> </ul>

## 地域貢献

森林体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。</li> </ul>
グリーンアドベンチャー (社団法人青少年交友協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとらえて生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 星空を観察するという身近な方法で大気汚染を実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施</li> <li>■ 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。</li> </ul>

## 学内美化

雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。</li> </ul>
植栽の剪定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。</li> </ul>

# マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成30年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。



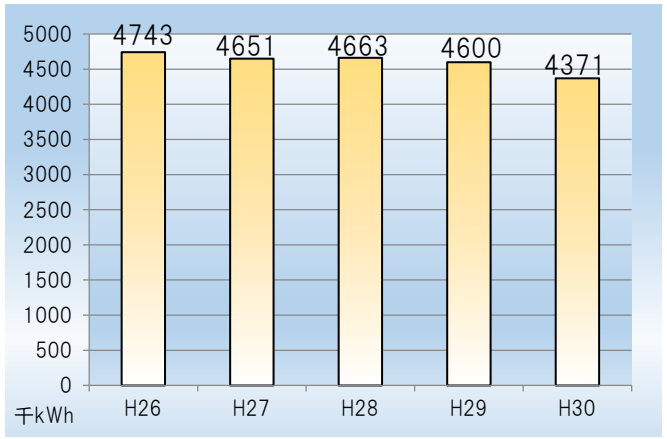
# 環境負荷データ



### 電力

- 電力使用量削減のため全学的な省エネ活動を推進しています。
- 平成30年度は、空調設備の更新による高効率化を行うと共に、年間を通しての省エネ活動として、電力の平準化や節電等を実施したため、平成29年度に比べ約5.0%の使用量削減となりました。

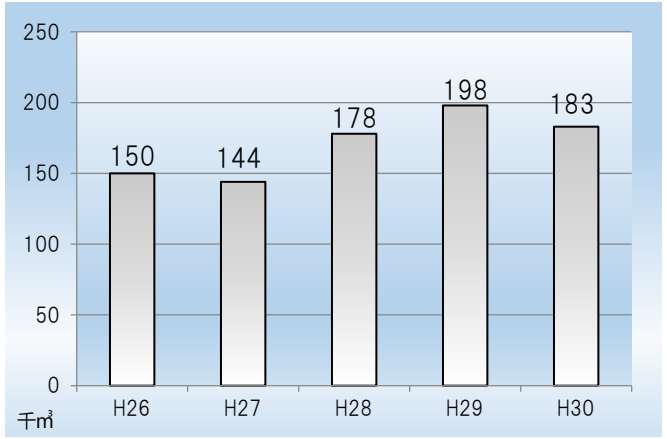
※柏原キャンパスのデータ



### 都市ガス

- ガス使用量削減についても全学的な省エネ活動を推進しています。
- 平成30年度は、空調設備の更新による高効率化を行うと共に、年間を通しての省エネ活動として、電力の平準化や節電等を実施したため、平成29年度に比べ約8%の使用量削減となりました。

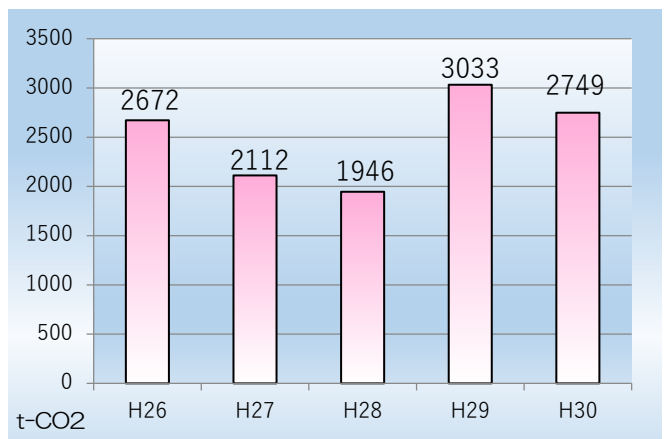
※柏原キャンパスのデータ



### 温室効果ガス

- 温室効果ガス排出量削減に努めています。
- 平成30年度は、空調設備の更新による高効率化を行うと共に、年間を通しての省エネ活動として、電力の平準化や節電等を実施したため、平成29年度と比べ約9%の排出量削減となりました。

※柏原キャンパスのデータ



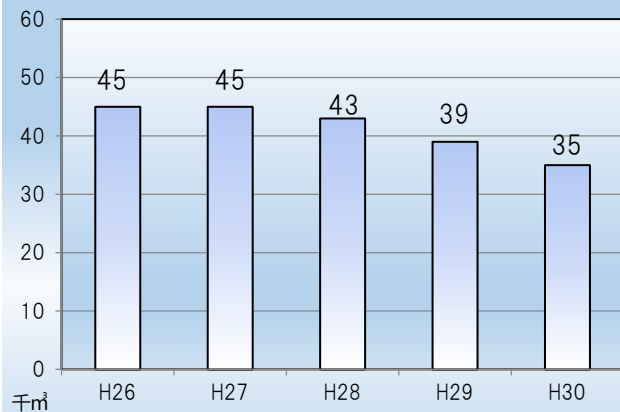


# 環境負荷データ

## 上水

- 節水対策により水の使用量削減に努めています。
- 平成30年度は、平成26年度及び平成27年度に行ったトイレ改修により手洗いの蛇口が節水型自動水栓となり、節水の効果が現れたため、平成29年度に比べ約10%の使用量削減となりました。

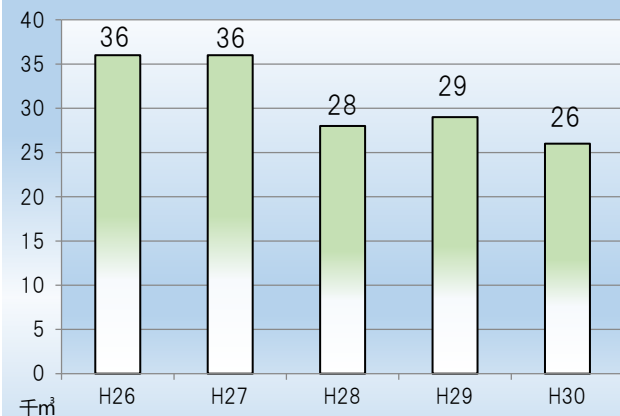
※柏原キャンパスのデータ



## 中水

- 中水は排水を再生処理してキャンパス内で再循環利用しています。
- 平成30年度は、順次行ってきた便所改修で節水型便器を採用したことにより、平成27年度と比べ約28%の使用量削減となりました。

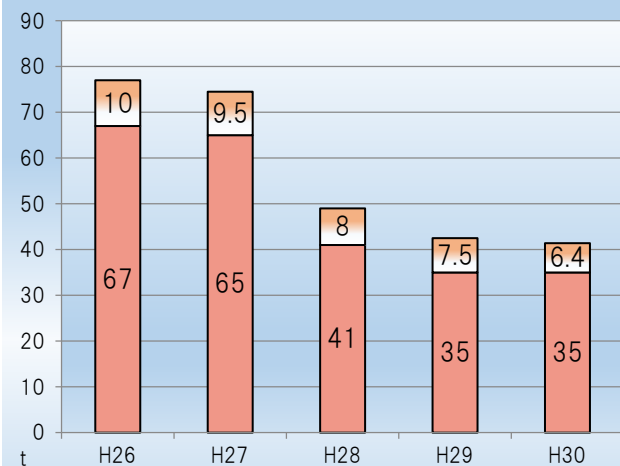
※柏原キャンパスのデータ



- トイレットペーパー
- コピー用紙

- トイレットペーパーについては、便所改修に伴い洗浄便座を設置した効果が現れ、使用量の削減が見られます。コピー用紙については、学内グループウェアにより通知文書の電子化や電子会議の浸透によりペーパーレス化が進みました。その結果、平成27年度と比べ約46%の使用量削減となりました。
- コピー用紙及びトイレットペーパーの節減に努めています。

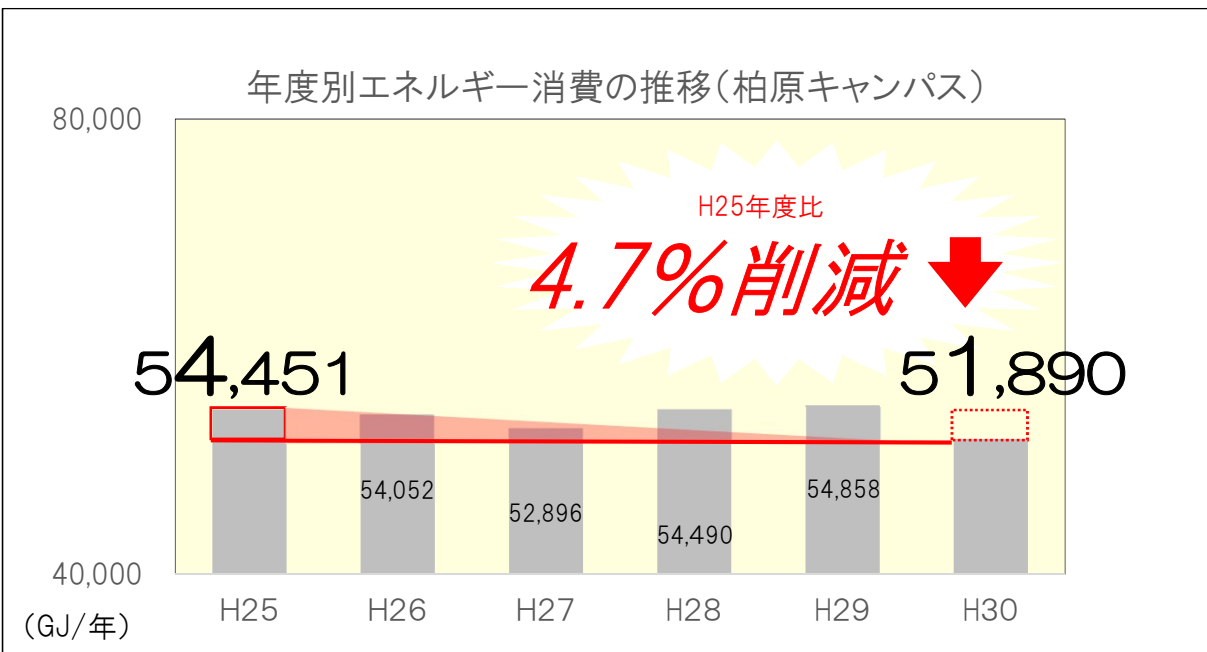
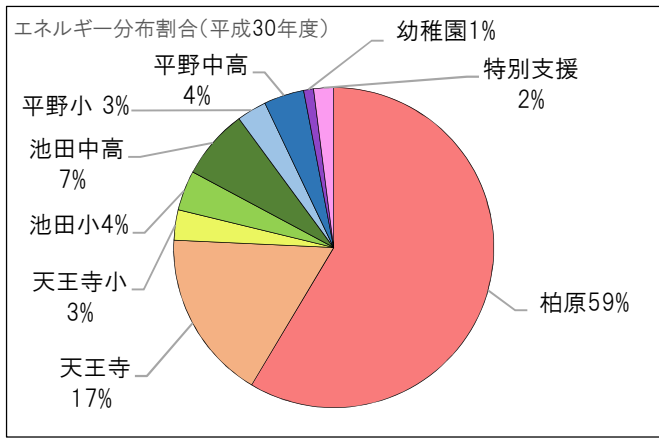
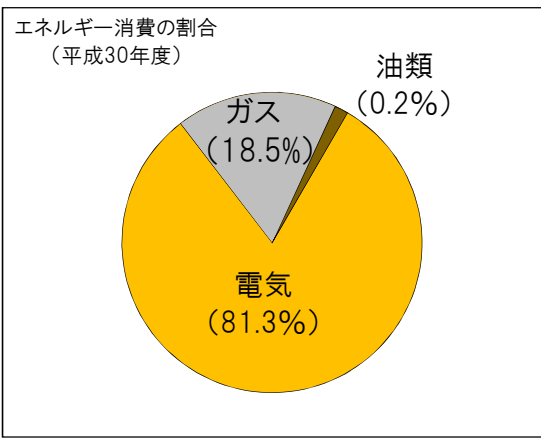
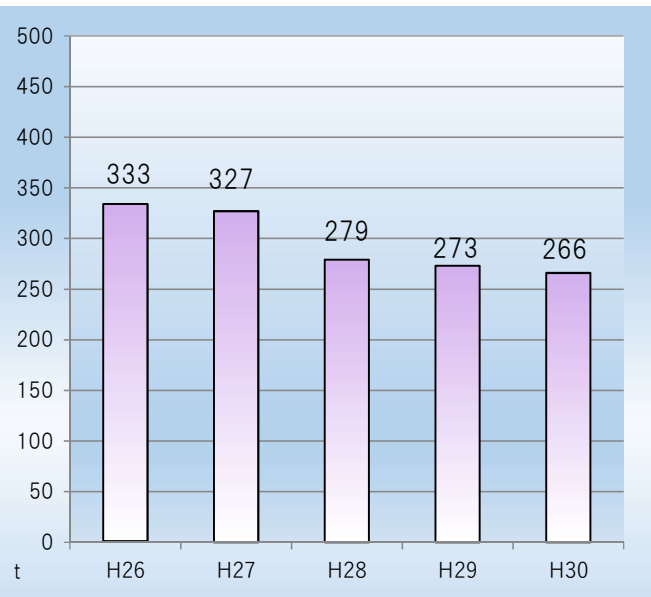
※柏原キャンパスのデータ



# 環境負荷データ

## 廃棄物排出量

- 一般廃棄物、産業廃棄物の削減に努め適切な処理を行っています。一般廃棄物については、可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処分を行っています。産業廃棄物については、種類毎に回収し専門業者に処理の委託を行っています。(マニフェストの義務化)  
また、特別管理産業廃棄物については、種類毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を行っています。(マニフェストの義務化)
- 廃棄物については、削減に努めることにより徐々に量を減じることができ、平成28年度から平成30年度は300tを下回る結果となりました。廃棄物は全て「廃棄物処理法」に基づき適正な処理を行っています。  
※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プラスチック等を破碎した体積で、重量に換算しています。



### ● 講義

本学では持続可能な社会を創生するマインドを持つ、教員をはじめとする人材を育成するために、基礎教育段階における環境関連のカリキュラムを充実させています。

科目分類（分野）	科目名	受講生数
教養基礎（生命と環境）	はかってなんぼー環境をはかる	135
教養基礎（生命と環境）	地球と環境	54
教養基礎（生命と環境）	水と環境を考える	134
教養基礎（生命と環境）	大阪の環境と地球環境	147
教養基礎（生命と環境）	地球と災害	193
教養基礎（生命と環境）	暮らしの環境と地図	42
教養基礎（数理情報と自然）	科学常識を考える	66
教職教養	環境教育論	13
専攻分野科目	環境保健学	46
専攻分野科目	環境安全論	19
専攻分野科目	水圏科学II	40
専攻分野科目	自然システム基礎	65

京都大学防災研究所の矢守克也教授を講師に迎え、NHK大学セミナー「正解のない教材『クロスロード』で防災を学ぶ」を、授業「水と環境を考える」の一環として、NHK大阪放送局との共催で開催しました。学生、職員ら約150人が参加しました。セミナーでは受講生も正解のない問題にYESかNOかで答えを出し、そう考えた理由も述べました。受講生は「『正しい答え』を求めることだけが正しいことではないとわかった」などの感想を寄せました。





# 環境マネジメント活動の推進

環境教育・研究活動の取り組み

## 研究

本学では教員養成に立脚した環境教育に関する研究、ならびに地球環境に関する研究が行われています。

研究テーマ	研究成果	キーワード
環境教育	カリキュラム・マネジメントの観点によるユネスコスクールESD実践の評価, 教科教育学論集, 18, 9-18	カリキュラム・マネジメント, ESD
富栄養化対策	ため池におけるアルカリ性ホスファターゼによるリン酸の生成量の推定, 陸水研究, 6, 31-36	藻類, アオコ, 栄養塩
水質汚濁	河川水に含まれる溶存蛍光性有機物の大和川水系内における地点ごとの特性, 第18回環境技術学会年次大会, 予稿集, 48	河川環境, 水質分析, 有機汚濁
水質浄化	野菜を用いた水質浄化を示す教材開発の試み, 環境技術学会第18回年次大会, 予稿集, 47	水質改善, 環境教育, 教材開発
水質汚濁	大和川水系における溶存態蛍光性有機物の現状とその対応策の検討, 日本陸水学会近畿支部会発表会, 陸水研究, 6, 44-45	有機汚濁, 河川環境, 環境回復

## 教材園の活動

- 教材園において、授業や卒業研究・SSH課題研究に用いる植物（イネ・コムギ・ネギ・インゲン・オジギソウなど）を育成しました。
- 平成30年度の授業利用として、教材園において「栽培I」（教員養成課程 技術教育専攻）などの8つの授業でトウモロコシ・トマト・カボチャ・ナスなどの栽培実習を行いました。
- 5/19に岡崎純子先生の研究室が、教材園の活動について、NHK「ぐるっと関西おひるまえ」のテレビ取材を受けました。
- 9/4の台風21号の暴風により、倒木などにより教材園の施設が影響を受けました。



テレビ取材を受ける岡崎先生



台風による被害状況



# 環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

## 柏原キャンパスの太陽光発電設備について

柏原キャンパスの太陽光発電設備は約200KWの発電能力があり、契約電力の約10%の電力消費に貢献しています。

### ●太陽光発電設備の容量

- ・100KW × 2セット = 200KW
- ・太陽光パネル 200W 960枚

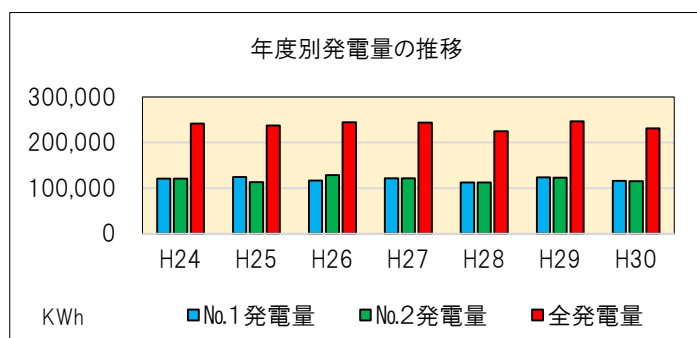
### ●太陽光発電設備の年間発電量（H30年度実績）

- ・115,500KW × 2セット = 231,000KW

### ●太陽光発電設備で発電した電気のフロー



※太陽光発電設備で発電した電気は、使用できる電圧に変換し、柏原キャンパス内の附属図書館と大学会館で消費しています。



●太陽光発電設備

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
No.1 発電量	120,650	124,501	116,533	121,576	112,546	123,440	115,596
No.2 発電量	120,964	113,022	128,374	121,915	112,290	123,117	115,311
全発電量	241,614	237,523	244,907	243,491	224,836	246,557	230,907



福島県立福島高等学校が行っているSS（スーパーサイエンスハイスクール）事業の一環として、生徒2名が本学の太陽光発電設備の見学に来られました。

「太陽光発電を普及させる上での課題と解決策の将来」というテーマで研究しているとのことで、設備や課題等についての説明を熱心に聞いたり、積極的に質問されていました。事後には、研究の成果を送っていただきました。

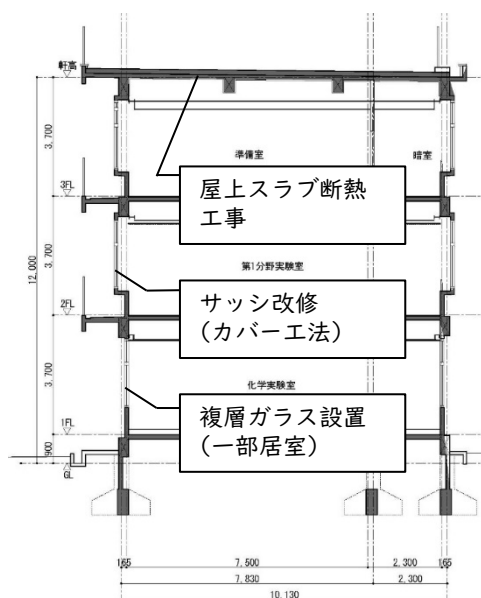
# 環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

## （平野地区）附属中高等学校改修

（平野地区）附属中高等学校は建設後50年以上が経過した建物で、老朽化が著しく、早急に学習環境の改善を行うため、平成24年度に第Ⅰ期目の改修工事、平成29年度にⅡ期目の改修工事を実施しました。

### 改修内容

- 中学校高等学校の校舎1階から3階 2,653㎡  
（普通教室9室、特別教室6部屋を含む）
- 環境や省エネルギーに配慮し、教室等の床や壁については木材を使用し、照明器具はLED化を図り空調設備においても高効率機種を採用しています。
- 老朽化した外部建具をカバー工法で改修することによる建物の気密性の向上、屋上スラブ断熱材の吹付け、一部居室に複層ガラス設置など、省エネルギーへ貢献する仕様としました。



### 省エネルギーへの効果

- 年間削減予測の温室効果ガス 41.4 t-CO<sub>2</sub>/年



● 屋上スラブ断熱工事



● カバー工法による外部建具改修



● 複層ガラス設置



● 改修後

# 環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

## ecoウィークの実施について

本学では、サステイナブルキャンパスの構築において、省エネルギー推進委員会により、エネルギー使用合理化及び地球温暖化防止の観点から、学生・教職員のecoに関する意識を啓発するため、年度内に2回「大教大ecoウィーク」として期間を設け、夏のオープンキャンパス前と秋の学園祭前に実施しています。学生・教職員によりキャンパスの環境美化を行う「一斉クリーンデー」と、省エネルギーキャンペーンである「ecoキャラバン」の取組を行っています。

### 省エネルギー推進キャンペーン

省エネルギー推進キャンペーンとしての「ecoキャラバン」は、施設課職員が各研究室、実験室や執務室などへ巡回し、省エネルギー推進に関する提案ならびに指導やフロン法に基づく空調点検の依頼などを行い、より一層のエネルギー縮減となることを目的として行っています。第1回目は、柏原キャンパスを7月24日から7月27日の期間にて行いました。第2回目は、11ある附属学校園を10月22日から10月26日の期間において行いました。



### 一斉クリーンデーの実施について

柏原キャンパスでは、ecoウィーク期間中には、一斉クリーンデーとして学生ならびに教職員が参加し、エリアを分担して、キャンパス内の草刈りやごみ拾いなどの作業を行いました。平成30年度は、第1回を7月18日（水）、第2回を10月24日（水）に行い、第1回では、猛暑日の中、主に草木などの刈り取りを行いました。第2回では、草木の刈り込み、ゴミ拾い・清掃などを行い、どちらも見間違えるほどきれいになりました。



●草の刈り取りの様子

●清掃の様子

## 環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

### 水都おおさか森林の市2018

本学理科教育専攻、美術教育専攻の学生、教員らが、10月28日（日）に「水都おおさか森林の市2018」（\*）でワークショップを開催しました。本学公式キャラクター「やまお」も登場し、来場者と触れ合いました。

「森林の市」は、木材や食べ物など森林の恵みを通して森林と人とのつながりを実感してもらおうというもの。イベントのイメージに合うとして「やまお」が参加依頼を受けたことがきっかけで、地域貢献と教育活動の紹介を目的に大学ブースを出展しました。当日は50以上の団体による食品や工芸品の販売、工作体験などのブースが並び、およそ3万人が訪れました。

理科教育専攻の学生らは「森林の虫たちとのふれあい体験」と題したワークショップを開催。柏原キャンパスで採集したモリチャバネゴキブリ、ヤマトシロアリ、ワラジムシを紹介しました。都会では嫌われ者の虫たちが、山では枯れ木や落ち葉などを分解するという大切な役割を担っていることを説明し、子どもたちと実体顕微鏡で観察したり、虫たちの習性を利用した簡単な実験をしたりしました。

美術教育専攻の学生らは、台風被害木を使って工作するワークショップを開催しました。来場者たちは、のこぎりを使って木を切ったり、木の根をスケッチしたり、葉や実を使った飾り付けを行いました。材料の枝や幹は、今夏に関西圏を襲った台風により被害をうけた木で、柏原キャンパスで拾い集めたものが使われました。

「やまお」は、来場者らと記念撮影を行い、大学と豊かな自然に囲まれた柏原キャンパスをPRしました。

参加者からは、「虫たちに親しみがわいた」「台風で倒れたことはかわいそうだけど、作品として生き返りみんなにわいがしてもらえるのはいいことだと思う」「大教大にこんなキャラクターがいるとは知らなかった。やまお、かわいい」との感想が聞かれました。

ワークショップを実施した美術教育専攻3回生の中安沙季さんは、「子どもたちがこだわりを持って倒木に木の実を付けている姿が印象的でした。大人の方にも楽しく参加いただけたようです。幅広い年代の方と関わり一緒に木に触れることが出来て貴重な経験になりました」と語りました。理科教育講座・生田享介准教授は、「途切れることなくご来場いただき、ワークショップは大盛況でした。学生たちが頑張ってくれて、無事終わることができました」と述べました。

(\*） <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/2018morinoichi.html>

- 日 時 平成30年10月28日(日曜日) 10時から16時まで
- テーマ 「木の魅力 触れて学ぼう 森林(もり)のこと」
- 場 所 毛馬桜之宮公園・近畿中国森林管理局



台風で被害にあったキャンパス内の倒木

「倒木の幹のフロッタージュ（こすりだし）」

木の根っこのスケッチ

ボランティア学生の工作指導

～森林の市でのワークショップ風景～

# 環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

## イエロー・ライン・プロジェクト2018

2009.11.28に発足し今年度9年目の活動になる本プロジェクトは、学内×地域市民で構成するプロジェクト・グループです。

「アート」を軸に「菜の花」、「ひまわり」、「綿の花」などの色（イエロー）をキーワードにして、「人」、「環境」、「まなび」、「地域」、「教育」を意識しています。

地域（学校園、市民、商店街など）と連携し、アートで人と環境を結んで、地域活性化・まちづくりに貢献できればと考えています。

広い意味での循環型社会の在り方を考えます。

学内、地域に展開する「菜の花、ひまわり、河内木綿栽培」

及び「ワークショップ」等の実施や、

市公式イベント・プロジェクトへの協力参加をします。

地域環境意識の転換が求められる中、将来、

地域の教育を担う人材を育てる教育大学として、

人と環境の関係を意識していくことは、

大変重要であり、本プロジェクトで目指している

効果としては、下記のようなことが言えると思います。

1. アートをベースにした地域連携の展開から、地域に根差した学士力育成の場の創出
2. 地域や地域教育機関等への協力貢献  
(地域に開かれた、地域拠点としての大学のアピールへの可能性)
3. エコ・コミュニケーションを通じた多様性意識、環境教育や循環型社会意識体験（場の創出）



1 学長挨拶  
2 環境方針  
3 環境マネジメント組織  
4 大学概要  
5 環境配慮実施計画  
6 マテリアルバランス  
7 環境負荷データ  
8 環境マネジメント活動の推進  
9 第三者意見  
10 環境報告ガイドライン対応表

# 環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

## ● 毎木調査の実施

杜の実態を調査される研究者の厚意により、小さな規模の毎木調査を行っていただきました。（毎木調査とは、一定規模の範囲にどのような樹木があるか調べ調査する手法です）規模は10m×10mを4カ所と小規模ですが10m範囲をテープで区画して木に番号を振り樹木の名前等を調べました。この調査は継続的に行うのが充実した資料となることから5年毎に調査をかける計画を立てていたのですが、昨年の台風21号の進路にかかり被害が予想されたことから急遽調査を行いました。

調査結果として調査場所1で樹木が折れただけでしたが、調査場所4では調査場所が特定できないくらい地表面が変わっていました、やっとの思いで樹木に付けた番号を見つけだすことができました。

また、調査対象の周辺でコナラの大木が「ねがいら」（根から倒れること）して樹冠に大きな空が開き、樹木の交代がこれから始まる実感を感じることができました。この空は何十年後には葉っぱでいっぱいになるのだろうと世代交代は私には見ることはできないが次の学生達に見てほしいと考えています。

キャンパスの森は雨水を森に止め徐々に流すダム役目を担っており森が活性化することを期待して報告とさせていただきます。



幹が折れ樹冠が開いている



コナラ ねがいら状況



柏原キャンパス配置図（毎木調査）

# 環境マネジメント活動の推進 大学生協への取り組み

## 大阪教育大学生協の省エネルギーに関わる取り組み

冷蔵庫・冷凍庫、厨房機器等を多用する為、営業店舗においては大きな削減はかないませんが、バックヤードなどの事務機能部分でチェックリストによる省エネ活動の推進を行っています。また、SUNCAFE（カフェ）の照明をLED対応に交換したことなどもあって、平成28年度より、順当に使用量削減が進んでいます。今後も什器、機器の入替時には省エネタイプへの切り替えを推進していく予定です。

尚、他の大学生協では、コンビニ店において、商品の品質保持の為（具体的にはチョコレート菓子が溶けないように）、夏場閉店後もエアコンを稼働させていますが、大阪教育大学生協同組合では、店舗レイアウトの工夫で、閉店後のエアコン稼働は極力避けています。



大阪教育大学生協 省エネ対応項目 (内訳)

空調関係	
「夏季冷房時」室温設定は25度（食品を扱っているため毎時）（1度で10%削減）	
「冬季暖房時」室温設定は19度	
「冬季暖房時」高層階間終了後12時以降はエアコンをOFFする（止めても30分くらいは温かみ）	
エアコンの風速は弱を原則	
室内フィルターの清掃実施（2週間に1回）（5%削減）	
運転中はドアの開放をしない（夏ピークを除く）（0%削減）→全員が気をつける	
稼働時は必要最低のみ運転	
「アイリス・総務」稼働はクールビズで（カーディガンは着ない）	
照明関係	
稼働時は必要最低のみ点灯	
ビジネスアワーでも不要部分は消灯（誰もいない更衣室、事務室等）	
「食生活館」昼間の自然光、外光を考慮して、0.6Wに削減	
「食生活館」某時間帯以前のホール照明消灯、閉店時刻になってから点灯	
「食生活館」オーダーストップから30分後までホール照明消灯	
パソコン・事務機器	
稼働時、パソコンディスプレイは電源をOFF	
ノートパソコンはシャットダウン後、ACアダプターを抜く	
パソコンを長時間（90分以上）使用しないときは、シャットダウン	
その他、長時間はしない、電源ボタンをONからOFFを抜く	
その他	
「食生活館」冷蔵庫・ダクトのフィルター定期清掃	
「アイリス」冷蔵ショーケースファンフィルター、ハンカムの定期清掃	
エレベーターの待機は必要最小限にする（今10分の移動以外は原則使用しない）	
ダムウエーター（南物）リフトも可能な限り節電対応が使用される	

チェックリストによる省エネ活動

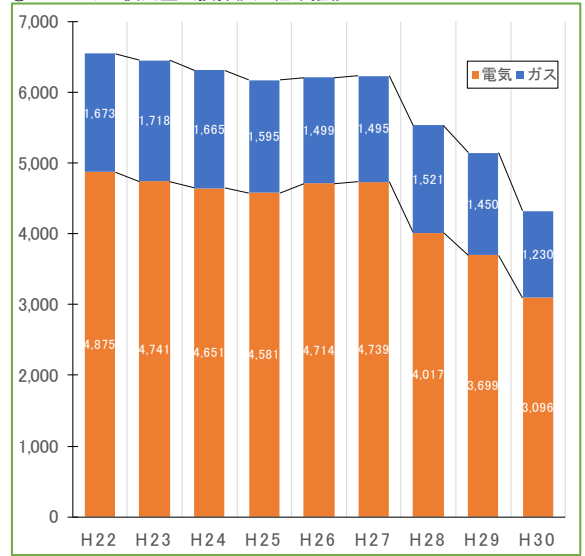
①年間ガス使用量 (m<sup>3</sup>)

年度	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー換算
H22年度	8,210	28,965	0	37,175	1,673
H23年度	6,794	31,388	0	38,182	1,718
H24年度	7,376	29,615	0	36,991	1,665
H25年度	6,703	28,749	0	35,452	1,595
H26年度	4,406	28,893	0	33,299	1,499
H27年度	3,976	29,254	0	33,230	1,495
H28年度	5,030	28,773	0	33,803	1,521
H29年度	5,310	26,904	0	32,214	1,450
H30年度	4,491	22,832	0	27,323	1,230

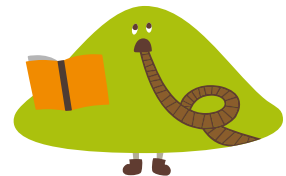
②年間電気使用量 (kwh)

年度	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー換算
H22年度	131,900	305,000	62,600	499,500	4,875
H23年度	138,655	284,498	62,586	485,739	4,741
H24年度	144,631	278,333	53,629	476,593	4,651
H25年度	134,639	284,340	50,410	469,389	4,581
H26年度	147,209	287,748	48,078	483,035	4,714
H27年度	148,363	288,781	48,432	485,576	4,739
H28年度	128,158	237,856	45,565	411,579	4,017
H29年度	119,224	207,109	52,621	378,954	3,699
H30年度	119,473	196,807	896	317,176	3,096

③エネルギー使用量（換算値）経年推移



●エネルギー使用量の推移



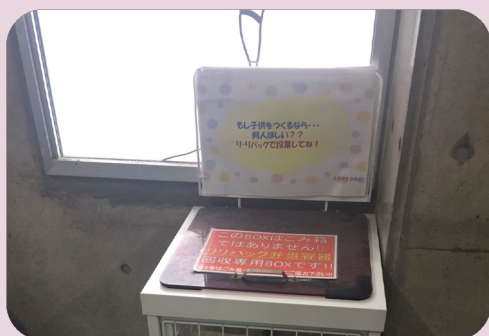
1 学長挨拶  
2 環境方針  
3 環境マネジメント組織  
4 大学概要  
5 環境配慮実施計画  
6 マテリアルバランス  
7 環境負荷データ  
8 環境マネジメント活動の推進  
9 第三者意見  
10 環境報告ガイドライン対応表



# 環境マネジメント活動の推進 大学生協への取り組み

## ecoウィークの実施について

生協では、テイクアウトショップで販売する弁当の容器として、リサイクル可能な「リ・リパック」を使用しています。平成30年度は「楽しい企画を通してリ・リパックを普段回収しない人に興味を持ってもらうことで、認知度を上げ、回収率をあげる」を目的として、リサイクルを促進しました。また、回収にご協力いただいた方にはお菓子をプレゼントすることで気軽に参加できるように工夫しました。企画以外にも学生委員会のTwitterなどでリ・リパックの回収の紹介をしたり、回収BOXを「あなたならどっち？」などの質問形式の投票箱にしてリサイクルを楽しく、身近に感じてもらえるようにしています。少しでも多くの方に環境保護の意識を持ってもらえるように日々努めています。



リ・リパックの  
お菓子ハント  
～もう1回遊べる丼～

テイクアウトショップや第二食堂で提供されているリ・リパックは、実はリサイクルすることができるんです◎

～企画期間～

- ◎ 7月9日～景品がなくなるまで
- ◎ 時間：昼休み（12:15～12:50）
- ◎ 場所：A-215前 & アイリス前の階段上

～内容～

- ◎ 持ってきてくれたリ・リパック1個につき、お菓子を1すくいすることができます◎
- \* 3個以上持ってきて、3回以上は引けませんか！

中協了生委員会

# 第三者意見



## 第三者との意見交換会

令和元年9月19日、本学と国立大学法人のOBの方々に、本学の「環境報告書2019」に対するご意見を伺いました。

当環境報告書に反映できる点は改善し、その他の意見は来年度の環境報告書の作成の参考にしていきます。



主な意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体               <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォントが統一されていないようにみえます。</li> </ul> </li> </ul>	<p>本文は、学校の教科書で用いられることの多い、「UD デジタル 教科書体」を採用しました。ロービジョン（弱視）、ディスレクシア（読み書き障害）に配慮された書体です。なお、グラフ等、冊子の構成上小さく読みとりにくい箇所はゴシック体を使用しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 9ページ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の抑制 脱プラスチック製品への転換を追記してはいかがでしょうか。</li> </ul> </li> </ul>	<p>追記しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 13ページ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種グラフの年表示が西暦となっております。本表は、元号になっており、表現を統一するか、または併記するか、いずれかに統一したほうが良いと思います。</li> </ul> </li> </ul>	<p>年号表記を和暦に統一しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 13ページ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・下表の作り込みがいきなり変わっていて廃棄物の一部のようにとられるので間を空けた方がよいのでは。</li> </ul> </li> </ul>	<p>空白行を入れ見切りをつけました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 15ページ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・下部は、教材園の活動だと思われるのでタイトルを入れた方がわかりやすいのでは。写真にもタイトルを入れないと何を説明しているかわかりません。</li> </ul> </li> </ul>	<p>タイトルを追記しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 17ページ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図が改修範囲の説明か、美術教室・普通教室の配置かがわかりにくいので、レイアウトを工夫したほうが良いのでは。</li> </ul> </li> </ul>	<p>断面図に修正し、温室効果ガス削減に努めた図示にしました。</p>

ご協力いただきましてありがとうございました。



# 環境省 「環境報告ガイドライン（2018年版）」との対応一覧表

環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」	大阪教育大学 環境報告書2019
環境報告の基本的事項	—
1. 報告にあたっての基本的要件	—
(1) 対象組織の範囲・対象期間	大阪教育大学環境報告書2019の作成にあたって
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	大阪教育大学環境報告書2019の作成にあたって
(3) 報告方針	大阪教育大学環境報告書2019の作成にあたって
(4) 公表媒体の方針等	裏表紙
2. 経営責任者の緒言	学長挨拶
3. 環境報告の概要	—
(1) 環境配慮経営等の概要	大学概要
(2) K P I の時系列一覧	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
4. マテリアルバランス	マテリアルバランス
「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標	—
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	—
(1) 環境配慮の方針	環境方針
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮実施計画
2. 組織体制及びガバナンスの状況	—
(1) 環境配慮経営の組織体制等	環境マネジメント組織
(2) 環境リスクマネジメント体制	環境マネジメント組織
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	環境マネジメント組織
3. ステークホルダーへの対応の状況	—
(1) ステークホルダーへの対応	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み
(2) 環境に関する社会貢献活動等	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み 環境マネジメント活動の推進 ・学生の取り組み
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	—
(2) グリーン購入・調達	グリーン購入法及び環境配慮契約法への対応について
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ・学内での取り組み
(4) 環境関連の新技术・研究開発	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ・学内での取り組み
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	—
1. 資源・エネルギーの投入状況	—
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(2) 総物質投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 水資源投入量及びその低減対策	環境負荷データ
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	—
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 総排水量及びその低減対策	環境負荷データ
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	環境負荷データ
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境保全活動の取り組み
「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	—
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	—
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み
その他の記載事項等	—
1. 後発事象等	—
2. 環境情報の第三者審査等	第三者意見

編集チーム

課長	岩田幸三
課長代理	西本正信
設備係	係長 谷口法敏 主任 河瀬修治 主事 堀内保彦 江藤壽敏
建築係	係長 大高史彦 主任 数内君子 伴海和彦
企画係	係長 前田祥行 主任 千井南美 宮崎圭子 谷山哲子 久米志織



OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

環境報告書ホームページ

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kikaku/houtei/index.html>



大阪教育大学は、この自然に囲まれたキャンパスの立地環境を活用し、生きた教材として、優れた環境人材の創出を目指します。本学の学生・教職員の環境への取り組みにご理解いただき、ご指導、ご支援をお願いいたします。



お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学

総務部施設課企画係

電 話： 072-978-3333

F A X： 072-978-3345

MA I L： [sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp)

U R L： <http://osaka-kyoiku.ac.jp/>